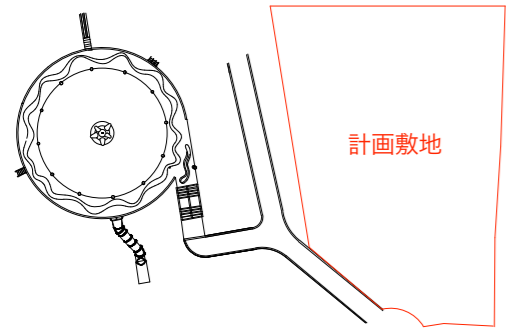


回廊の庭



ダイアグラム

1.問題点

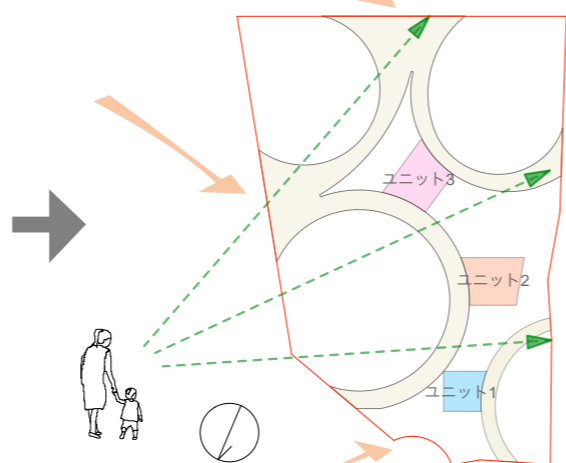


- 遊具と計画敷地は隣接しているが一体となった利用がされていない
- 既存トイレまで遠い
- 日影となるスペースがない

2.解決策

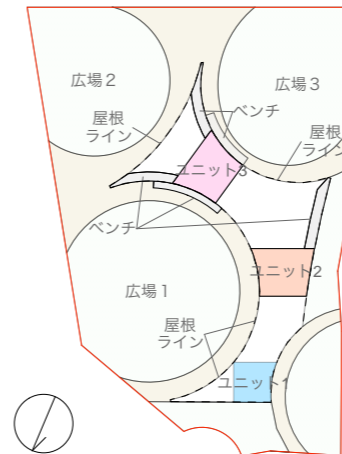
- 各トイレブースを最小ユニットに細分化する
- 広場のどこからでもアプローチできるようスロープを設ける
- 休憩として利用出来るよう屋根をかけ、ベンチを設置する
- プライバシーを確保しつつ、防犯性にも配慮した配置計画
- 利用者に優しく、維持管理しやすいトイレ
- 自然換気やメンテナンスを考慮して、ランニングコストの低減を図る
- 構造はRC造とし公園内という場所性、コストに配慮した施工計画

3.分散配置



- 細分化された各トイレブースを適度な間隔で分散配置する
- 視線が抜けることで圧迫感をあえない配置計画とする
- 計画建物に沿ったスロープはどこからでも利用者を迎え入れる

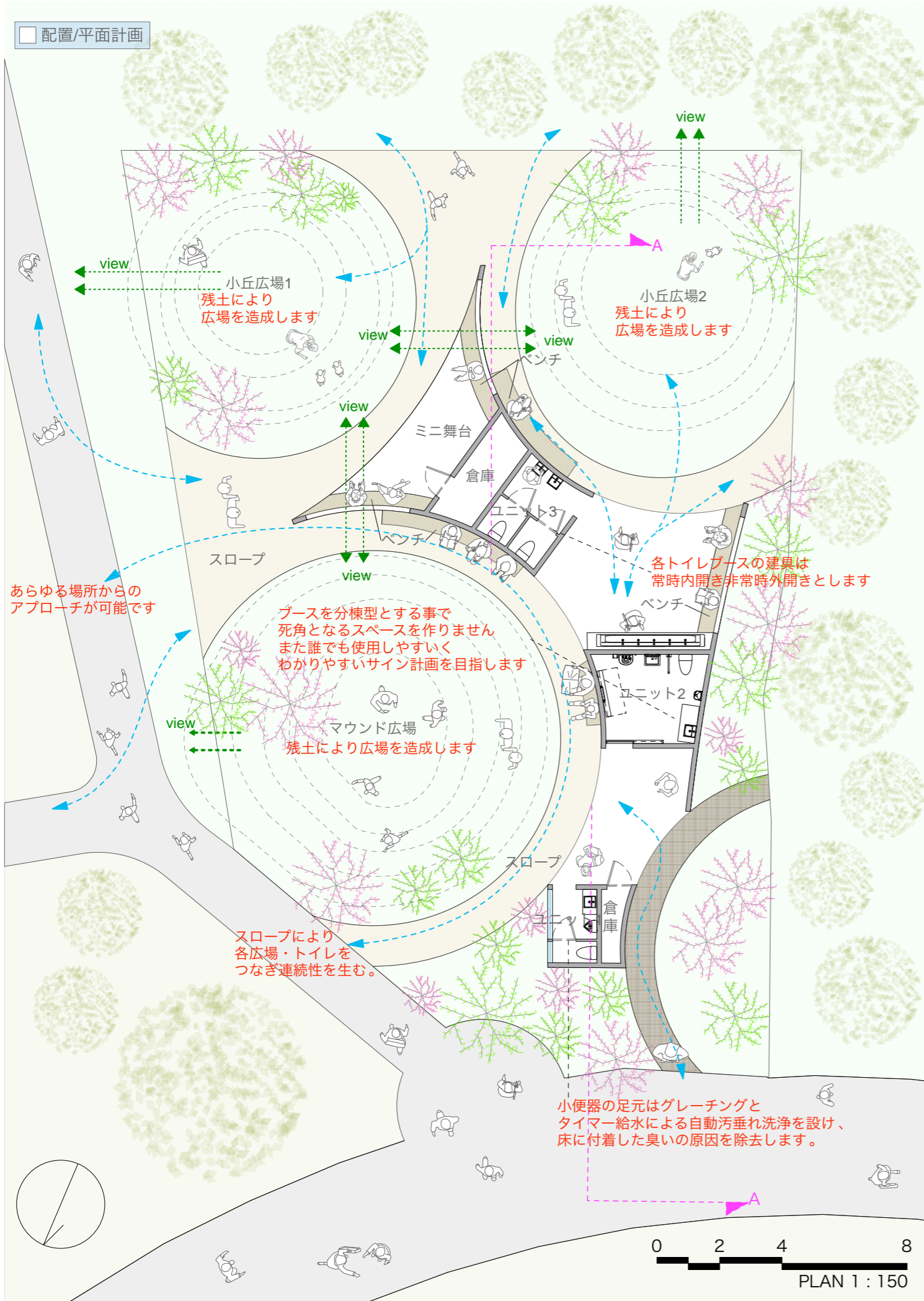
4.新たな利用形態の創出



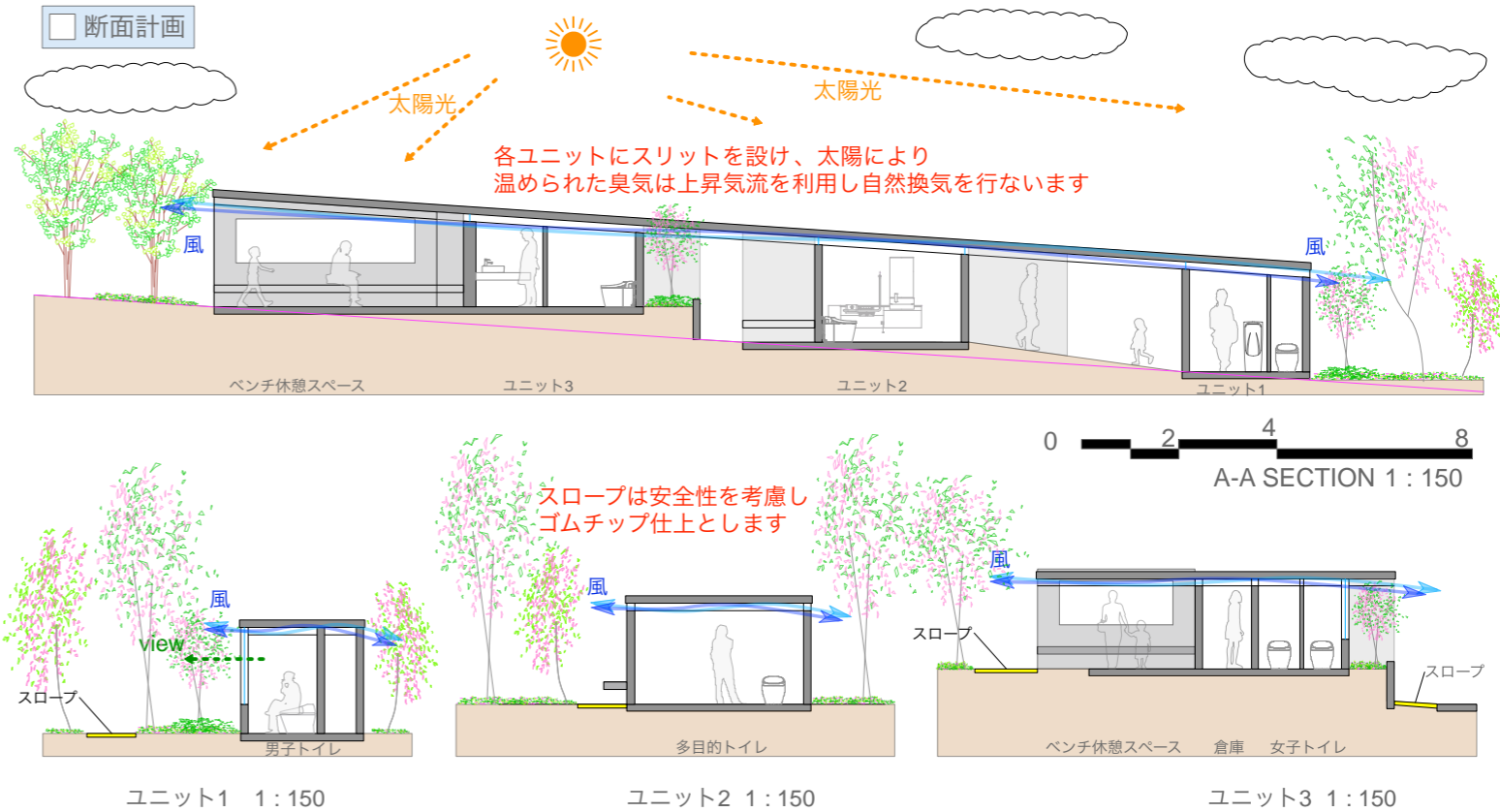
- 緩斜面に沿う大屋根は様々な居場所を創り出す
- 分散させたトイレブースとの間にベンチ等を設置することで広場に新たな価値を生みだす
- 土工事の際にでる残土を広場の造成に使用する事で残土処理のコストを削減する



□ 配置/平面計画



□ 断面計画



- ・躯体
RC造のみで極力構成し、異業種を少なくする事で、コスト削減に寄与する計画とします
- ・仕上げ
仕上げ材料を少なくする事で、誰にでも分かりやすい、メンテナンス方法を計画します

□ 提案趣旨

- 1.バリアフリーの視点**
 - ・各ユニットへはスロープにてアプローチ可能とします。またユニバーサルデザインへの配慮します。
 - ・誰が見てもわかりやすいサイン計画を目指します。
- 2.維持管理のしやすさ**
 - ・汚れが付きづらい仕上げ(素材)を検討します。
 - ・グレーチングとタイマー給水による自動汚垂れ洗浄により床に付着した臭いの原因を除去します。
- 3.安全・安心**
 - ・どこからでもアクセス可能で行き止まり(死角)を作らない動線計画となし、防犯性を高めます。
 - ・分散配置とする事で利用者のプライバシーを確保しつつ明るく風通しのよい清潔なトイレとなります。
- 4.新たな「場」をつくる**
 - ・単なるトイレとしての機能だけでなく、休憩やイベント、新たな遊びの場となり様々なニーズに対応出来る施設を目指します。

□ 施設概要

- ・建築面積：79.457㎡
- ・延べ面積：36.333㎡
- ・高さ：2.60m
- ・躯体構造：RC造(左官補修ノ上塗装仕上)
- ・スロープ：ゴムチップ舗装仕上

